

あしがき

令和2年7月豪雨において、球磨村は25名の尊い命を喪いました。令和2年7月4日の朝、降り続く雨と迫りくる濁流の中で、救助を求める住民の方々の声が今も耳から離れません。あの日、私達は自然の猛威に対して如何に無力なのかを思い知らされました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに被災されたすべての方々にお見舞いを申し上げます。私達は、この未曾有の大災害を決して忘れることはありません。今、私達に出来ることは「あの日、何が起きたのか」を検証し、未来へ残すことです。

検証に当たっては、豪雨の概要を明らかにするとともに、情報提供・住民避難、初動対応、被災者の生活支援及び組織体制の強化等の項目毎に当時を振り返りながら、災害対応の概要、円滑に出来た点、課題となった点及び課題に対する今後の改善策等について、より具体的に検証作業を進めました。本検証結果を具現・徹底することこそが、災害に強い村を創造することであり、今を生きる我々の使命です。

係る観点から本検証結果を公開します。老若男女を問わず幅広い層の方々にご確認頂ければ幸いです。

令和3年3月31日

令和2年7月豪雨球磨村検証チーム